

## 雑誌「地域創造」41号 国内掲載記事概要一覧(掲載順)

## 特集「NPO施設のいま」

## 砂川市地域交流センターゆう

北海道砂川市

▼公立文化施設運営、NPO、中心市街地活性化、市民劇団、市民ミュージカル、子ども事業

[実施団体] NPO法人ゆう

[施設] 砂川市地域交流センターゆう

〒073-0153 北海道砂川市東三條北2-3-3

砂川駅と自由通路で直結したホールゾーン(500席、100席)、交流ゾーン、子どもゾーン(プレイルーム等)、研修・体験ゾーン(研修室、食品工房等)から成る地域交流センター。旧市民会館の建て替えと新しいまちづくりの拠点施設として、構想段階から市民が運営協議会準備会を設立して参加。そこが母体となりNPOを設立し、指定管理者として運営。市民劇団の活動を軸に、キッズジャズスクール、キッズ落語教室、こども人形劇団をはじめ、フリーマーケットや高齢者を対象にした「いきいきサロン」など市民目線で多彩な事業を展開。

## 木田金次郎美術館

北海道岩内町

▼公立文化施設運営、公設民営、個人美術館、NPO、ボランティア

[実施団体] NPO法人岩内美術振興協会

[施設] 木田金次郎美術館

〒045-0003 北海道岩内郡岩内町万代51-3

地域活性化策を模索していた岩内青年会議所メンバーらの活動がきっかけとなり、町ぐるみで美術館建設運動を展開。1994年に地元が誇る木田金次郎の作品を収蔵した個人美術館を開館。運動に関わった町民が中心となった岩内美術振興協会が公設民営美術館として、ボランティア「ポブラの会」とともに運営。2007年の指定管理者制度移行を受けて、NPO法人化。木田金次郎の画業を後世に伝える企画展に加え、「絵の町」岩内の拠点施設として、「ふるさと子ども美術展」「町民コレクション展」や中学・高校美術部の展覧会、岩内絵画教室などを実施。

## 四谷ひろば

東京都新宿区

▼遊休施設活用(学校)、NPO、市民協働、ボランティア、美術館、子ども事業

[実施団体] 四谷ひろば運営協議会(地域ひろば、NPO法人日本グッド・トイ委員会、NPO法人市民の芸術活動推進委員会)

[施設] 四谷ひろば

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-20

新宿区の学校統合により閉校となった旧四谷第四小学校を活用した交流施設。地元の町会やPTA、商店会が一体となって学校施設の存続運動を展開。旧校舎、校庭を地域住民等が交流する「四谷ひろば」として活用。地域住民中心のボランティアなどにより自主管理・運営する「地域ひろば」、NPO法人日本グッド・トイ委員会が運営する「東京おもちゃ美術館」、NPO法人市民の芸術活動推進委員会が運営する「CCAAアートプラザ」があり、3者が四谷ひろば運営協議会を設立して運営。

## 加東市東条文化会館(コスミックホール)

兵庫県加東市

▼公立文化施設運営、NPO、ボランティア、市町村合併、公共施設等総合管理計画、クラシック音楽、コンクール

[実施団体] NPO法人新しい風かとう

[施設] 加東市東条文化会館(コスミックホール)

〒673-1311 兵庫県加東市天神66

バブル時代の1990年、人口7,800人余りの旧東条町が建設したクラシック音楽専用ホール(574席)。開館にあたり、特色ある事業と

して町民がボランティアで支える「日本木管コンクール」を立ち上げ、90年以降、フルート部門とクラリネット部門を交互開催。若手演奏家の登竜門として第一線で活躍する多くの演奏家を輩出。2006年、旧社町、旧滝野町と合併して加東市となったことに伴い、直営から加東文化振興財団による指定管理に移行。14年、公共施設適正化検討特別委員会で廃止が検討されたことから存続運動が起こり、16年度から3年間、市民によるNPO法人新しい風かとうによる運営がスタート。

## 体験レッスン

## 山本能楽堂

大阪府中央区

▼能楽堂運営、歴史的建造物、能楽普及事業、外国語対応、コラボレーション、子ども事業

[実施団体] 公益財団法人山本能楽堂

[施設] 山本能楽堂

〒540-0025 大阪府中央区徳井町1-3-6

1927年に能楽師の山本博之が大阪商人の助力により創設した大阪で最も古い能楽堂(2006年国登録有形文化財に指定)。04年に山本章弘が三代目を継いで以来、「開かれた能楽堂」を掲げ、多彩な能楽の普及事業を展開。「とくい能」(夜7時半開演)、ビルのエントランスや屋外で能楽を披露する「ストリートライブ能」、「初心者のための上の方伝統芸能ナイト」(大阪で培われた芸能を複数組み合わせる解説付きで上演)、現代美術のアーティストと組んだ「アートによる能案内」など。また、スマートフォンやタブレットで能楽を楽しめるアプリも開発。海外交流にも力を入れ、2015年国際交流基金地球市民賞受賞。

## SCOPE

## ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス

東京都武蔵野市

▼公立文化施設運営、複合施設、図書館、青少年支援、市民活動団体支援、居場所づくり

[実施団体] 公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団

[施設] ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス

〒180-0023 武蔵野市境南町2-3-18

2011年にオープンした「図書館」「生涯学習センター」「市民活動センター」「青少年センター」の4つの機能を融合した新しいタイプの「機能複合施設」。図書館を基幹に、青少年やビジネスマン、市民活動団体などあらゆる市民の居場所となる運営を実現し、年間来場者数が平成28年度推計で195万人という人気施設となった。楕円型の開かれたルームが連なるユニークな設計により、2016年日本建築学会賞受賞。

## イラストSCOPE

## 加勢鳥

山形県上山市

▼民俗行事、復活、市町村合併、観光

[実施団体] 上山市民俗行事加勢鳥保存会、火勢太鼓、上山市観光物産協会

約400年前、江戸時代に始まった五穀豊穡・商売繁盛をもたらす旧正月の民俗行事。ケンダイと呼ばれる蓑のようなものを頭から被り、「カッカッカーのカッカッカー」という独特の掛け声とともに飛び跳ねながら街中を巡る加勢鳥に、祝い水をかける奇習。日清戦争の影響により一旦途絶えるが、1959年に復活。一時は継続が危ぶまれたが、86年に保存会を設立。振りや太鼓を創作し、加勢鳥のなり手を男女、国籍を問わず公募するなど開かれた継承により活性化した。